

爪切り屋メディカルフットケアJF協会 協会通信

NO.3

2009年2月28日発行

編集・発行/爪切り屋メディカルフットケアJF協会 広報委員会

〒179-0085 東京都練馬区早宮 3-12-5 TEL03-3992-1824 Fax03-3992-3309



2009年2月早宮教室にて

私とフットケア

爪切り屋メディカルフットケアJF協会 会長

宮川 晴妃

今回はフィンランドでのお話(連載)はお休みさせていただきます。

私はかわらずに早宮教室、そのあいまに講演に出かける毎日です。4月にお目にかかるのを楽しみにしています。

理事会報告・・・2008第11回7・27 第12回11・24

今回は第11回理事会(2008/7/27)、第12回理事会(2008/11/24)を報告します。

①会員限定講習について

- ・受講料は¥10,000とする
- ・講師料は受講料収入の6割(消耗品、必要物品代を含む)他日程内容について決める。

②開講申請書、開業申請書、修了証発行申請書について

開講申請書、開業申請書、修了証発行申請書については、

定款第12章 雑則 第38条 この協会会則・定款に記載無き事柄が生じた時は理事会において協議して決定するものとする。第39条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、会長がこれを定める。により、理事会で定め、定款 第8章規定講習及び、第9章開講及び開業の細則として、第30条講習内容 第31条32条 教室規約要綱 第33条について第12回理事会にて定め平成21年度総会において周知することとする。

③第三回研修会については、特別講演は宮川会長にお願いする。会員報告は候補者を決め、可能な方をお願いする。

その後、会場の確保ができず研修旅行案が出され、理事の皆さんの意見で始めて企画することに決める。

④会費未納のお知らせを出す。

⑤開講・開業承認通知は額に入れられるものとする。

⑥会員証について平成21年度の議案にする。

⑦理事報酬について21年度の議案にする。

ここが知りたい フットケア

Q & A の形で皆様からの質問に宮川先生に答えていただくコーナーです。

ご質問をお待ちしています。



会員投稿：福岡美容専門学校 福祉科フットケアコース 担当 九州支部代表木村鉄也

福岡美容専門学校では19年10月より1年間(105時間)を掛けてメディカルフットケアJF協会3級を修了しました。

授業内容は

フットケアの意義と心の接客、爪の構造と役割、皮膚の構造と役割、足骨の構造、フットケア時の衛生管理、ケアマッサージ、反射区、靴の選び方、履き方、歩き方、基本的な爪の切り方でした。

生徒は7名と少人数での授業でしたので、しっかり技術を伝える事が出来、修了までには角質除去、爪きり、ケアマッサージまでが出来るようになりました。

(1名学校を辞めた為に修了は6名)

一般の受講と違って美容学校の1つのカリキュラムであったので始めはやる気が無いように感じ取れましたが、徐々にフットケアが面白くなってきたみたいで楽しく授業を受けてくれるようになり、終わりにろには技術も上達して安心してみていられました。

授業風景



3級修了書 授与

「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会

会長宮川晴妃 による 3級修了証書 授与

副賞として宮川晴妃執筆 「メディカルフットケアの技術」 贈呈

生徒に感想文を書いてもらいました。

一部ご紹介いたします。

私はこの授業を通して、人に対する思いやりや、気配りの大切さを学んだと思います。

現在、美容専門学校に通っており、サービス業を学んでいく上で、自分の昔からの夢である、福祉美容の未来像が少しずつ描けてきたような気がします。それは、この授業を学んだおかげだと自分は思います。

この授業では、ご年配の店だけではなく、若い年代の方も相手に出来るような授業内容であり、

それは、自分が描いていたどの年代にも愛され信頼される福祉美容とも重なるものでした。

それに、この授業では単に技術の向上だけでなく、とても楽しく勉強する事が出来ました。

例えば、この授業内容そのものが1人ではできないものなので、仲間たちと助け合い、お互いに成長していけるものとなりました。この授業内容は学校だけでなく、両親や友などに行き届けることも出来ました。みんな喜んでくれ以前よりも絆や交流を深める事が出来たと思います。

平成20年度第2回研修会 ・ ・ ・ 2008. 08. 23 13:30~16:40

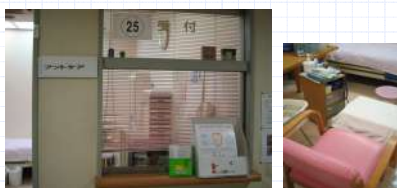
サンシャインシティ文化会館会議室にて宮坂奈緒子さん、石井裕美子さんに会員報告を、皮膚排泄ケア認定看護師安藤眞理子さんに「フットケアに必要なスキンケアの知識と技術」について講演していただきました。宮坂さん・石井さんは違う立場と環境の中で懸命にフットケアワーカーとして活躍されている様子が伝わってきました。宮坂さんはたくさんの症例の写真を持ってきてくださり、具体的な参考になりました。

病院でのフットケア外来～石井

セコメディック病院のフットケア

- ◆2004年11月28日開設
- ◆フットケアワーカー 1名
- ◆週に2回(月・金曜日)・予約制
- ◆1週間で計9名のケアを行う
- ◆保険外診療(1回 7350円)
- ◆2007年11月より名称変更
(メディカルフットケア外来 → フットケア)
- ◆2007年12月よりフットケア相談窓口開設

フットケアの部屋



病院で行うフットケアの短所(不足点)

- ◆人手不足！(ひとりで行っているから)
- ◆病院スタッフのフットケアに対する認識不足。
→問い合わせに答えられる人がいない
→病棟スタッフとの連携、継続ケアが難しい
- ◆患者さんと病院側のフットケアに対する思い認識に温度差がある。
- ◆予約がいっぱいで、すぐにケアができない。
→フットケアを行う日を増やせない(病院の方針)
- ◆フットケアカルテがない(電子カルテ)。
- ◆保険が使えない。

まとめ

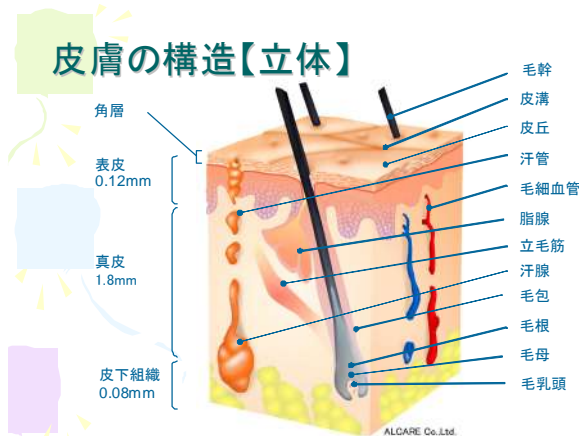
- ◆疾患の有無にかかわらず、フットケアのニーズは高い。
- ◆医療関係者が、積極的にフットケアにかかわる必要がある。
- ◆適切なフットケアを行えるよう環境を整える必要がある。



「フットケアに必要なスキンケアの知識と技術」 安藤 真理子氏



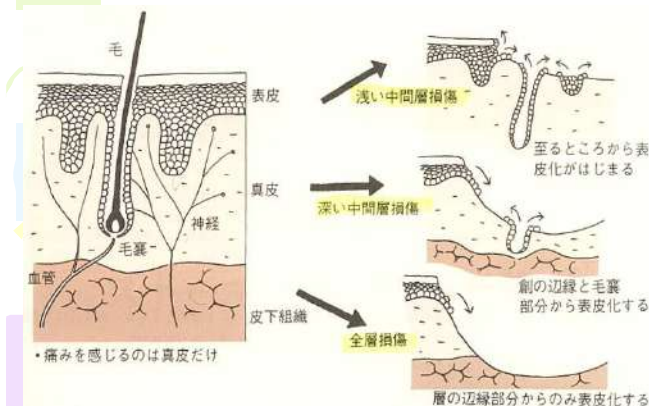
皮膚の構造【立体】



粘着テープによる皮膚障害の予防

- テープ貼付前の皮膚の清潔と乾燥
- 同一部位へのテープ貼付の回避
- 皮膚にストレスをもたせない貼付の仕方
- 角質剥離の少ないテープの剥かし方

表皮化のメカニズム



皮膚・排泄ケア認定看護師の安藤氏にフットケアの基礎知識としての「スキンケア」の最新の知識と技術を講演していただきました。スキンケアの目的を「皮膚の生理機能を正常に保つ」とし、「皮膚に影響を与える刺激を取り除いて皮膚を守り、皮膚障害を予防・改善させる環境を整えることが必要」と明確に提示されました。また、皮膚に与える刺激の要素である皮膚洗浄剤と特徴と使い分け、粘着テープによる皮膚障害の予防など具体的な内容など、フットケアに直接役立つ情報がありました。

会員限定講習会

月 日	内容	参加人数
09月25日	爪切りの基本技術	6名
10月29日	グラインダーの使い方	9名
11月30日	反射区とケアマッサージ	2名
12月25日	外反母趾と脂肪褥変	5名

卒業されてから久しい方また遠方より参加して下さった方々には充実した講習になりましたでしょうか？教室を卒業されそれぞれの場所で活躍されている忙しい時間の中参加され、新たな発見や学び続ける大切さを感じていただけたら幸いです。会員限定の講習だけでなく、早宮教室にも是非お気軽に午後実習の時間のみでも参加いただくことによって技術レベルの安定と向上につながるものと考えます。

第三回研修会は皆さんにご意見を聞かずに、理事の皆さんのご意見のみで親睦会を兼ねた一泊二日の旅行に変更し申し訳ありませんでした。初めての企画でしたが参加された方は皆さん喜んでくださいました。

24日は午後より、会議室で研修会を行いました。会員報告を木村育子さんが報告されました。また、急遽鎌田タヘ子さんが報告をされました。



○ フットケアと福祉事業との関係
 (株)メディカルフットケア青森 木村 育子さん

東洋シルバーサービス(株)との連携で地域包括支援センター、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業者、在宅サービス利用者をつながりを持ちフットケア施術・職員への4日間研修、職員やヘルパー介護福祉士フットケア研修を行っている。写真でご紹介できないのが残念ですがフットケア施術ルーム、講義受講コーナーや実技実習コーナーのある立派なサロンです。フットケアの大切さを普及させていくために一年間無料でフットケア施術やイベントへの参加など熱意を感じる報告でした。何よりも喜びの声が継続への力となっているとおっしゃっていました。

○ 鎌田タヘ子さん

急遽お願いしたにもかかわらず、快くご自身の体験をお話いただきました。嚥下機能をより詳しく知るために鼻から入れるカメラを使い実際に様々な調理法・食材・大きさ・とろみの食物がどの様にのみこまれていくかを自身で体感され、実際に画像として目で見るという体験です。画像として目の当たりに見る事により、科学的に分析でき誤嚥を防ぐためにこうであろうと単に考えるより具体的な対処法を考えられたそうです。このお話は会長の講演で冒頭に述べられた事と重なっていました。また、ごく普通の爪切りを使って爪切りする時に爪切りの刃先のあて方によって誤った爪切り(深爪等)をする場合があり、「道具に関わらず爪切りの基本は変わらない」ということをわかりやすく伝えていただき大変参考になりました。

○ 特別講演「初心にかえるⅡ」講師 会長 宮川 晴妃

一級修了時に提出するレポートの内容についてふれに科学的に証明されること、数字として目に見えるものがなければ人に伝えることはむずかしく、ましてや国を動かす事はできないという現実を理解し、それを心にとめて施術していくようにとのことでした。

技術的に伝えられたポイントを紹介します。

- ①切ることによってその後どの様に爪が変化していくかを考えて切る。
 施術後どのくらいの期間良い状況を保てるか・・・
 - ②爪の役割を保つために爪切りをしていることを忘れない
 - ③見極める目を持つために必要な爪・足の知識・相手の身体状況を大切に考える
 - ④爪と皮膚をしっかりとわけることが切る場合も削る場合も一番の基本
 - ⑤削る～横に這わせるように根元から一気に削らず細かく動かす。
 削る場所によっていろいろなビットを使いこなす。
 - ⑥切る～上からだけでなく横からもしっかりと見ること→①につながる爪を悪い形にしてしまう場合があり、そのような症例があった。(スクエア・スクエアオフの違い)
- その他時間ギリギリまで様々な質問があり、一つ一つ答えていただきました。
爪切りの奥の深さを実感した講演でした。



追記：1級修了後のレポート未提出の方、また新たなレポート提出をお待ちしています。今年度中に冊子にまとめたいと考えています。～事務局

編集後記
通信 No.3 の発行が大変遅くなってしまいました。今後とも会員の皆様のご意見を頂きながらより良い広報誌にしたいと思います。
広報担当 関根・高橋